

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)11月5日号 No.1940

目次

■ 米国とロシアの貿易の最新動向	齋藤 大輔 1
■ トピックス	11
経産省、電子部品や電子機器の輸出に注意喚起／11	
DMG森精機、ロシアへの製品供給を改めて否定／11	
カザフとの間でJCMの協力覚書に署名／11	
JICAウクライナ事務所、業務再開／11	

米国とロシアの貿易の最新動向

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

ロシアがウクライナに軍事侵攻してから、1年8カ月が過ぎた。米国は日本や欧州諸国とともにロシアの侵攻を非難し、厳しい経済制裁を次々と科している。侵攻後、米国はロシアとの間でどのような貿易を行ってきたのか。二国間貿易はロシアによるウクライナ侵攻と強力な制裁によって、どのように変わったのか。2022年の1年間と2023年1月から8月までの米口貿易をまとめた。

1. 過去最大の落ち込み

米国統計局(USA Trade Online)が発表した貿易統計によると、昨年1年間の米国とロシアの貿易額は161億ドルとなった。これは、360億ドルだった2021年から一転、ロシアによるウクライナ侵攻それに伴うロシアへの強力な制裁により、55.3%の落ち込みとなった。西側諸国の中では、70%以上の減少を記録した英国と次いで、大きな落ち込みとなった。

米国からロシアへの輸出は機械、自動車、精密機器など大半の品目(HSコード2ケタ91品目中71品目)で前年を下回り、全体では前年と比べ74.0%減り17億ドルに、ロシアから米国への輸入は、肥料、濃縮ウラン、ニッケル、アルミニウムなどが増えた一方、原油・石油製品や鉄鋼などが大きく落ち込み、前年を51.3%下回り144億ドルだった。

輸出、輸入ともに、この30年で最も大きいマイナス幅になった。